



### 3.新規褥瘡発生率

褥瘡予防対策は提供されるべき医療の中でも非常に重要な項目であり、特に高齢者の入院の多い当院では必須の項目といえます。褥瘡の予防には除圧管理から栄養管理まで多岐に渡るケアが必要とされ、チーム医療が試される分野ともいえます。

当院では新規の褥瘡を作らさず、既存の褥瘡を改善させる為、褥瘡対策委員会を設け入院時と週に一度の褥瘡評価を全入院患者を対象に行い、対策を行っております。

本年度より週に1回の褥瘡回診も開始いたしました。

在院患者における新規の褥瘡発生率は、2011年(1.96%)、2012年(1.45%)、2013年(1.28%)と順調に減少していましたが、本年は2014年(1.67%)と増加しました。

当院の1ヶ月間の平均新規発生件数は、2.7件/月です(一月の入院のべ日数(全患者の月内入院日数の合計)が平均2,227日/月、新入院が95.3人/月)

病棟機能を転換した時期(10月)以降、新規褥瘡発生数が減少しているようですが、引き続き評価および対策に力を入れていきます。

